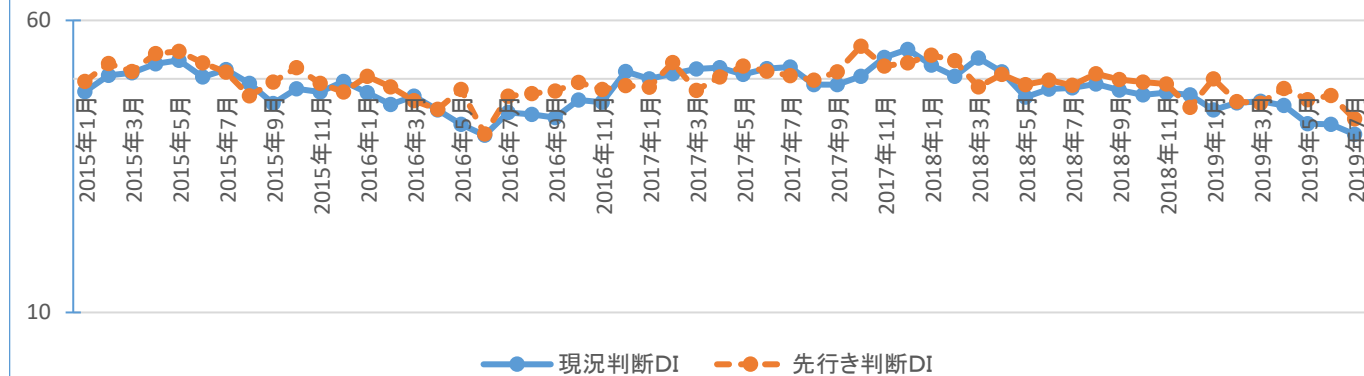


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年7月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《販売量の動き》10月の消費税増税を前にして、駆け込み需要とまではいかないが、この機会に新しい車に買換えようという人が増えてきている。【乗用車販売店（営業担当）】
		不変	《お客様の様子》今月はお中元の売上が最も増加する月である。法人客は増加したが個人客は減少しており、合計すると売上は横ばいである。【一般小売店【贈答品】（経営者）】
		やや悪	《来客数の動き》長引いた梅雨でまとまった雨が少なく、客も家から余り出掛けない傾向があった。夏休みやお盆前でもあり、売上、来客数共に減少傾向である。【スーパー（店長）】
	企業動向関連	やや良	《受注量や販売量の動き》やりきれない仕事量の引き合いが引き続き入っており、その傾向が強まっている感がある。納期対応を考えると仕事を断ることが増えそうである。【金属製品製造業（従業員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》販売量がやや増加しているが、引き合いは低調で以前と余り変わっていない。【金属製品製造業（経営者）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》完成車メーカーから中国向けの輸出が落ちていると聞いており、その影響を受けている。【輸送用機械器具製造業（総務経理担当）】
	雇用関連	やや良	なし
		不変	《採用者数の動き》自動車業界はメーカーや生産車種によって多忙さが異なる。米中貿易摩擦の影響から輸出車の数も横ばいである。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		やや悪	《周辺企業の様子》エンジニアの稼働率に変化はないが、製造業の客からの引き合い残件数が減少しており、景気はやや悪くなったのではと感じる。【人材派遣会社（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	プレミアム付商品券の導入、キャッシュレス化によるポイント還元など、使う人にはメリットのある施策はあるので、多少は回復するのではと考える。【スーパー（店長）】
		不変	天候にかかわる部分が大きいので、基本的な与件は変わらず消費税増税前は推移していくと見込んでいる。インバウンド客も主力の中国人の状況には特に変化はない。【百貨店（計画担当）】
		やや悪	今後の天候の回復を願うが、既に夏物商材への影響は大きい。お盆休み明けからは消費税増税を控えて一段と節約ムードが高まると予想する。【スーパー（ブロック長）】
	企業動向関連	やや良	当エリアでは当社を含め3社が大規模物件を供給する。通常の3倍の供給数が出るので、市場の活性化になり客が動くと思われる。ただし、競合激化となるであろう。【建設業（役員）】
		不変	国内では東京オリンピックに向け需要が拡大するだろうが、米中貿易摩擦の影響はまだ排除できないので、見通しを立てにくい。全体として中立の状態が今しばらくは続く。【電気機械器具製造業（企画担当）】
		やや悪	季節要因もなく、東京オリンピック需要もそろそろ打ち止め感があり、先行きに明るい材料がない。【鉄鋼業（経営者）】
	雇用関連	やや良	なし
		不変	企業からは継続的に、人手不足や来春新卒の採用活動に苦戦しているという声をよく聞く。【職業安定所（所長）】
やや悪		足元で客からの引き合い残件数が減少していることに加え、主要客での予算縮小に向けた動きも耳に届いている。【人材派遣会社（営業担当）】	